「日限山小学校・南舞岡小学校」通学区域と学校規模適正化等検討部会ニュース【第９号】

発行日：令和６年10月21日
発行元：「日限山小学校・南舞岡小学校」
通学区域と学校規模適正化等検討部会
（事務局：横浜市教育委員会事務局学校計画課）

第９回検討部会
日時：令和６年８月28日(水)
10時00分から
会場：日限山中学校　図書室

はじめに

検討部会での決定事項などについて、両校の保護者の皆様や通学区域内にお住まいの皆様にお伝えします。

両校の児童にとってより良い教育環境を整えていくために、学校規模適正化に向けた具体的な対応を検討部会で検討してきました。
第９回検討部会で、これまでの調査審議の結果を意見書にとりまとめ、横浜市学校規模適正化等検討委員会に提出することになりました。

検討部会での決定事項

1. 学校規模適正化に向けた対応

両校の児童にとってより良い教育環境を整えていくために、日限山小学校・南舞岡小学校の両校の統合を事務局が提案し、第８回の検討部会で部会として了承。

2. 統合後の新しい学校

学校の名前
ひぎり舞岡小学校

開校時期
令和８（2026）年４月（現在の小学５年生が卒業後）

使用する校舎
現在の日限山小学校の校舎

通学区域
現在の日限山小学校・南舞岡小学校の通学区域を合わせた通学区域
※通学区域の一部に特別調整通学区域を設定予定（詳細についてはP.6･7を参照）

3. 意見書･通学安全に関する要望書の決定

第９回検討部会で意見書を学校規模適正化等検討委員会、通学安全に関する要望書を区役所や警察署等の関係機関へ提出することを決定。

第9回検討部会後の流れ

意見書について９月11日（水）に開催された横浜市学校規模適正化等検討委員会に提出し、審議の結果、意見書の内容のとおり横浜市教育委員会に答申することが決定しました。
今後、横浜市教育委員会にて、答申に基づき学校規模適正化の方針について審議します。学校統合の方針で決定した場合、その後横浜市会にて横浜市立学校条例改正の審議を行います。

※横浜市学校規模適正化等検討委員会への意見書の提出をもって、令和４年９月から全９回にわたって開催しました、「日限山小学校・南舞岡小学校」通学区域と学校規模適正化等検討部会は終了しました。検討部会の終了に伴い、部会ニュースについても本号をもって終了となりますが、御意見・御質問等につきましては、教育委員会事務局で引き続き受け付けております。

※第９回検討部会での検討事項の詳細や、部会に寄せられた意見は次ページ以降を御確認ください

第９回検討部会での検討事項

検討事項１　統合校の学校名案について

統合校の学校名案は、児童から 515 件、地域の方から 107 件、合計 622 件の御応募をいただきました。

アンケート結果を参考に検討した結果、「ひぎり舞岡小学校」になりました。

■　票数の多い順

名前	表記ちがい	応募総数（うち児童応募数）	主な理由
日限山（ひぎりやま）	ひぎりやま/日ぎり山/日限やま	74（31）	・小学校の場所は変わらない ・日限山中学校区でもあるから ・南舞岡小学校は日限山小学校から分離した学校だから
日限舞岡（ひぎりまいおか）	ひぎりまいおか/日ぎりまいおか/ひぎり舞岡/日限まい岡/限岡/日ぎりまい岡	70（67）	・略すと「ひぎまい」で、両校の頭文字が入れられて良い ・日限山小学校と南舞岡小学校をあわせたら、仲よくなれそう ・両校の名前を一部残すことで受け入れやすくなじみやすい
南山（みなみやま）	みなみ山/みなみやま	29（29）	・それぞれの小学校の名前を入れた方がいい ・２年生になったらすぐ漢字で学校名をかけるようになるから
日限岡（ひぎりおか）	日ぎりおか/ひぎりおか	28（28）	・日限山の「山」と南舞岡の「岡」は似ているので組み合わせた ・学校名を合体させたら日限と南舞岡の子が仲良くなれると思った
日限山南（ひぎりやまみなみ）	ひぎりやまみなみ/日ぎり山南/ひぎり山南	12（10）	・２つの学校がくっつくから名前もくっつけた方がいい
日限山南舞岡（ひぎりやまみなみまいおか）	ひぎり山南舞岡/日ぎり山南まいおか/日ぎり山みなみまいおか	12（10）	・両校名を全部入れたら名前がなくならないので悲しまない
ひまわり	向日葵	10（6）	・明るいイメージのある花でこれからの新しい学校にぴったり
南日限（みなみひぎり）	みなみひぎり/南日ぎり/南ひぎり	10（10）	・新しい学校に両校の名前を入れて忘れないため
南日限山（みなみひぎりやま）	みなみひぎりやま/南ひぎり山	10（9）	・小学校の立地が日限山の南にあるから
日限南（ひぎりみなみ）	ひぎりみなみ/日ぎり南	9（7）	・この三文字が組み合わせやすかったから
南舞岡日限山（みなみまいおかひぎりやま）	南まいおかひぎり山/南まいおか日ぎり山/みなみまいおかひぎりやま/南まいおか日限山/みなみまいおかひぎり山	9（5）	・場所は日限山だが南舞岡の人たちの思い出を無下にしたくない
山岡（やまおか）	やまおか/山おか	9（9）	・日限山は緑にあふれている山がいっぱいあり岡は山にかかわるから
新日限山（しんひぎりやま）	しんひぎりやま	7（6）	・新しい日限山の小学校だから
南舞日限（みなまいひぎり）	みなまい日限/みなまいひぎり	6（4）	・両方の名前を残しつつ、省略名で呼びやすく覚えやすい親しみのある名前にしたい
日南（ひなみ）		6（5）	・２つの学校の頭文字を入れて、それぞれの学校の思い出を消さずに新しい小学校をはじめるという思い
日限舞（ひぎりまい）	ひぎりまい	5（3）	・両校の名を取って縮めるとまとまるから
日限南舞（ひぎりなんぶ）	※読みの違い ひぎりみなまい/ひぎりみなみまい	5（3）	・日限小と南舞小の児童が来るからそれぞれの学校名を合体させた

■　４票以下及び白票、無効票

4	ひぎり、ひぎみな、岡山、舞岡日限、舞山、南日限岡
3	日限山第二/ひぎりやまだい２、南舞岡/みなみまいおか/南まいおか、南舞岡日限/みなみまいおかひぎり/南まいおか日ぎり、なかよし、にじ、日舞、日限山舞岡、みなひぎ、南舞山、よこはま
2	旧日限山/（旧）日限山、虹色/にじいろ、日限山いおか/ひぎりやまいおか、舞日/まいにち、舞日限/まいひぎり、南舞日限山/みなみまいひぎりやま、えがお、丘の上、協山岡、きらきら、元気、港南、中央日限山、ひかり、日限南舞岡、日限山・南舞岡、ひなまい、日ノ南、まいおか山、南岡日限、南日山、みひなり、レインボー
1	あおさわ、赤毎、あんぜん、うるとラ、永友、大山日、岡限、おにぎりやま、おひさま、おもしろ、開花、輝、がくどう、かなた、かもめ、鷗ケ丘、かわさき、がんばろう、北上永谷、北日限山、共進、キラキラ、激激、げんきにあそぼうまなぼう、限舞、港南きぼう、こうなんく、港南区日限南舞岡、港南ひまわり、港南舞岡、港南みらい、小谷戸、さくら、しあわせ、自ぜんかこまれ、しもながや、新合日限山、新日限舞、新日限舞岡、新横はま、スマイル、せいきょう、清鳥、青緑、たのしいじゅじょう、つさわ、つながり、とつか、戸塚港南、トモエキラキラ、ドラゴン、仲やさしくひぎみな、仲合山、なかよいたのしい、なかよく、和、南桜、南港、西洗、西洗どんぐり、西みなみまいおか、日舞岡、日本、はしやま、はな、花日南、晴れ緑、日岡花、東舞山、ぴかやま、光の丘、ひぎ舞、日舞同、ひぎみなみ、日限・舞岡、日限と南舞の子の、ひぎりなかむら、日限の岡、ひぎりの舞、日限舞岡ふたば、日限舞岡ふるさと、日限舞岡山、ひぎりまいまいかぶ、日限舞山、日限みな、ひぎりみなまい、ひきりみなみ、ひぎりみなみなかよし、日限南まい岡、日ぎり南山、日限山×南舞岡、日限山岡、ひぎりやまとつと、日限山みなまい、日限山南舞、日限山南舞岡がっぺい、日限山南舞岡総合、日上坂、ひだまり、日の岡、日照山、日向山、ひなみまいぎり、日波舞山、日南山、日の舞、日間、日舞限、日舞山、ひまわりのおか、ひみなぎ、日南山まいおか、富士の山、ふじ山、平和南日限岡、北日の丸、ほのかけ、舞、まいおか、舞岡・日限、舞限、舞限山、まなび、まるやま、みたらし、緑ヶ丘、みどりのおか、みなぎり、南限山、みなと、南日、みなひぎり、南里山、南とも山、南ひぎ、みなみひきり、南日限々岡、南日舞限岡山、南舞岡・日限山合同、みなみまいおかがくねんたい、南舞岡山、みなみまい山、みなみや、南山岡、南山舞岡、みなみよこはま、みなりひぎ、みひ、未来、未来ヶ丘、みらいの森、みんな、みんなのしあわせ、みんなのなかよし、メリハリ、やさしさ、友愛、夕陽丘、よこはまだいきち、横浜二地区合同、横浜日限舞岡、横浜日限山、横浜南山、レインボーひぎみな、（旧）日限まいおか
白票	27 票
無効票	19 票（市内に学校名が既に存在するもの、人名が含まれるものなど）

■　その他、児童の意見

・どちらの学校も閉校してしまうが、どちらの学校も忘れたくない。この創立には意味がある
・学校名がどちらかだけだと不公平さを感じるのでどちらの意味合いも入っている名前がふさわしいと思う
・２つの学校名を組み合わせた名前がいい
・この学校も楽しかったけど、次の学校も楽しいと思うからみんなで楽しみたい
・みんながにこにこになる小学校にしたい
・みんなが楽しく、平和な小学校にしたい

【学校名案における主な発言や意見】（凡例　☆：各委員の発言　⇒：事務局等からの説明）

☆　両校の学校を合わせるということで、どちらの名前も残したいという思いから、「日限舞岡」が良いと考えていました。
☆　新しい学校をつくるということで、両方の校名を入れない、全く新しい学校名がいいかなと思いました。
☆　「南」を入れた方が舞岡小との違いがあるので、「日限南舞岡」がいいかなと思いました。
☆　南舞岡小は略すと「みなまい」なので、「南舞（みなまい）日限」がいいと思います。

☆　漢字を「南舞」と書いて、「みなまい」と読ませるのは、当て字に近くて辞書に載っている正式な読み方ではないと思うので、学校名としては「みなみまい」と読んで、短縮名としては「みなまい」と読むのがいいと思います。
☆　子ども達の日限舞岡への票数をみると、南舞岡の「南」にこだわりはないように思いました。
☆　南舞岡小の子ども達は俳句を作る活動を「舞句（まいく）」と呼んだり、新体力テストのことを「舞（まい）体力テスト」と呼んでいて、「みなまい」という呼び方が浸透しているわけではないです。
☆　「日限舞岡」の主な理由に書いてある「日限山小学校と南舞岡小学校をあわせたら、仲よくなれそう」、「学校名を合体させたら日限と南舞岡の子が仲良くなれると思った」などの子ども達の思いを汲み取ってほしいと思います。
☆　両方の校名を残したいという子ども達の意見を尊重してあげたいと思いました。
☆　「日限舞岡」など子どもたちの意見が多いものが反映されることは、すごく大事だと思います。
☆　学校名は、通称では短縮することが多いため、そのことも踏まえて考えると良いと思います。
☆　舞岡を漢字にすると、短縮して呼ぶ際に「ひぎまい」と呼んでくれる可能性が高い気がします。
☆　日限（ひぎり）という読み方は他の地域ではしないことと、ひらがなの方が少しやわらかい感じがしていいと思います。
☆　学校名の決め方について、委員の皆様の意見を聞いた後、どのようにして決めるのですか。
⇒　これまでの部会では、委員の皆様で協議していただき、絞り込んでもまとまらなかった場合は、委員の皆様で投票いただいて、半数以上の票が入った学校名にする形をとっていることが多いです。
☆　地域にお住まいの自治会の方や保護者の方々の思いを優先して決めてほしいです。（学校長３名投票辞退）

（無記名投票）

＜検討結果＞

検討の中で、「日限舞岡」、「ひぎりまいおか」、「ひぎり舞岡」、「日限南舞岡」、「南舞日限」、「南舞ひぎり」、「南舞岡日限山」、「ひぎり南舞」、「ふるさと」の複数案が出たため、無記名投票を行いました。

【１回目の投票結果（投票総数：11 票）】

「日限舞岡」：２票、「ひぎりまいおか」：１票、「ひぎり舞岡」：５票、
「南舞岡日限山」：２票、「ひぎり舞」：１票

⇩

票数がまとまっている「日限舞岡/ひぎりまいおか/ひぎり舞岡」の表記について、無記名投票を行いました。

【２回目の投票結果（投票総数：11 票）】

「日限舞岡」：２票、「ひぎり舞岡」：９票

⇩

投票の結果、投票総数の過半数を獲得したため、学校名案は**「ひぎり舞岡小学校」**に決定しました。

～～～たくさんの御応募ありがとうございました。～～～

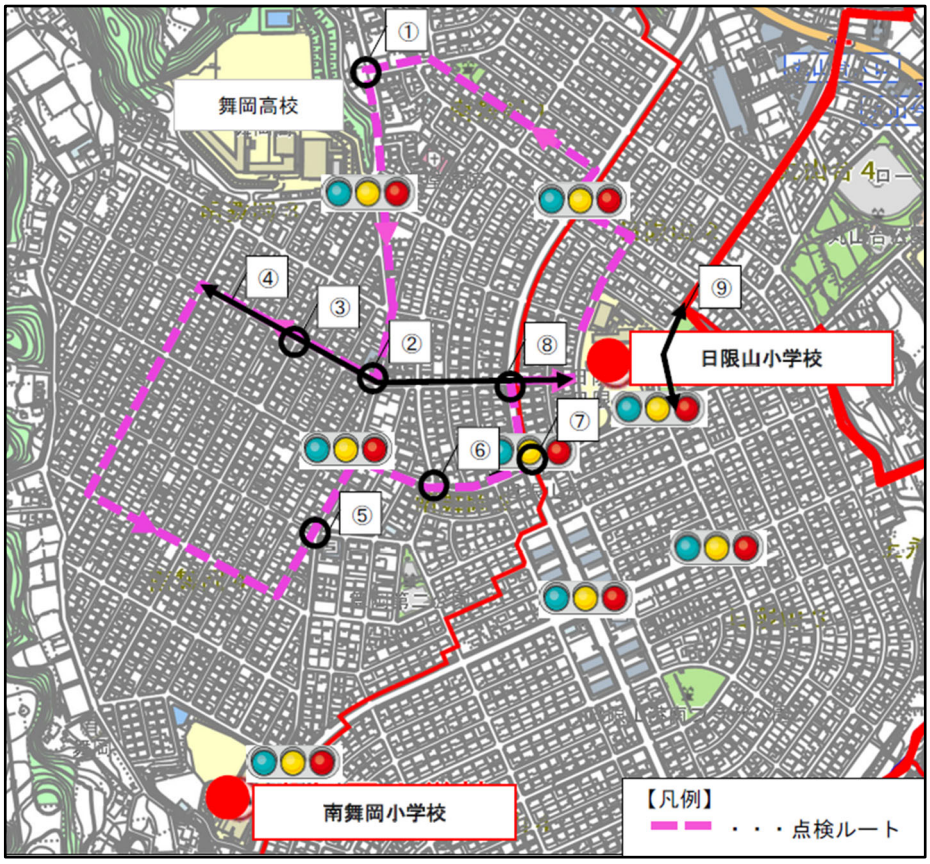
検討事項２　通学安全に関する要望書について

令和６年７月 16 日（火）に、日限山小学校と南舞岡小学校の保護者代表、地域の方、学校長等で通学安全点検を実施しました。点検の結果に基づき、検討部会において「日限山小学校・南舞岡小学校の統合に伴う通学安全に関する要望書」をとりまとめました。※今後、「要望書」に基づき通学安全対策が実施されるよう、事務局にて区役所や警察署等の関係機関と協議を行っていきます。

■　要望場所一覧

	要望場所	要望内容（要望理由）
①	舞岡町 2455-3 と南舞岡１丁目 23-35 の間の道路	児童が安全に横断できるよう、横断歩道を設置してほしい。
②	クレール（南舞岡１丁目 32-12）付近の交差点	横断歩道を安全に渡れるよう、横断旗を設置してほしい。
③	南舞岡３丁目 11-8 付近の交差点	児童が安全に横断できるよう、横断歩道を設置してほしい。
④	南舞岡３丁目 23-8 付近から日限山小学校までの道路	歩道がないため、カラー塗装（あんしんカラーベルト）の設置、スクールゾーンの路面標示を設置してほしい。
⑤	ユーコープ(南舞岡２丁目 17-22)付近の交差点	視界があまりよくないため、子ども飛び出し注意の標識を設置してほしい。
⑥	南舞岡２丁目８-２と南舞岡２丁目９-18 の間の道路	児童が安全に横断できるよう、横断歩道を設置してほしい。
⑦	日限山３丁目 40-19 付近の交差点	歩行者の滞留場所の安全確保のため、車止め（ボラード）を設置してほしい。
		横断時間が短いため、時差式の信号機への変更または信号機の現示時間を延ばしてほしい。
⑧	日限山２丁目 22-21 付近の交差点	舞岡第 331 号線を横断する児童の人数が増えるため、信号機を設置してほしい。
⑨	日限山こどもスポーツ公園と日限山小学校との間の道路（舞岡第 332 号線）	舞岡第 331 号線の車の交通量を分散するため、７時から９時までの間に設定されている自転車歩行者専用道路を解除してほしい。

■　通学安全点検ルート等



検討事項３　意見書について

これまでの審議結果をまとめた「日限山小学校・南舞岡小学校」通学区域と学校規模適正化等検討部会に関する意見書を次のとおり決定しました。

令和６年９月11日

横浜市学校規模適正化等検討委員会

「日限山小学校・南舞岡小学校」
通学区域と学校規模適正化等検討部会

「日限山小学校・南舞岡小学校」
通学区域と学校規模適正化等に関する意見書

当検討部会は、横浜市学校規模適正化等検討委員会条例（平成25年９月横浜市条例第55号）に基づき、「日限山小学校・南舞岡小学校」の通学区域と学校規模適正化等について調査審議するため、令和４年３月24日、横浜市学校規模適正化等検討委員会に設置されました。その後、９回にわたり「日限山小学校・南舞岡小学校」通学区域と学校規模適正化等に関わる諸課題の調査審議を行い、これを取りまとめましたので、次により意見を申し述べます。

１　調査審議事項

(1)　学校規模適正化についての考え方

様々な意見がありましたが、児童の教育環境の維持・向上を図るため、事務局から提案のあった「日限山小学校・南舞岡小学校」の２校を統合することを了承しました。

(2)　学校統合の実施方法

ア　統合校として使用する学校施設及び用地は、現在の日限山小学校が適当と考えます。
イ　統合の時期は、令和８年（2026年）４月が適当と考えます。

(3)　統合校の学校名

統合校の名称は、「ひぎり舞岡小学校」とすることが適当と考えます。

(4)　統合校の通学区域

統合校の通学区域は、日限山小学校と南舞岡小学校の通学区域を合わせた区域とすることが適当と考えます。

(5)　統合校の特別調整通学区域

現在、日限山小学校を指定校、下野庭小学校を受入校として設定されている特別調整通学区域（通学区域図①部分）は、統合校を指定校として引き続き設定するとともに、現在の南舞岡小学校通学区域のうち舞岡町（通学区域図②部分）には、舞岡小学校及び舞岡中学校も選択できる特別調整通学区域を新たに設定することが適当と考えます。また、現在、日限山小学校を指定校、野庭すずかけ小学校を受入校として設定されている特別調整通学区域（通学区域図③部分）については、特別調整通学区域を解除することが適当と考えます。

ア　特別調整通学区域の設定時期及び対象者

設定時期は、令和８年（2026 年）４月とします。対象者は、設定時期以降に入学または転入する児童・生徒とします。

イ　特別調整通学区域の対象区域

(ｱ)　特別調整通学区域①

指定校：統合校・日限山中学校　　受入校：下野庭小学校・丸山台中学校

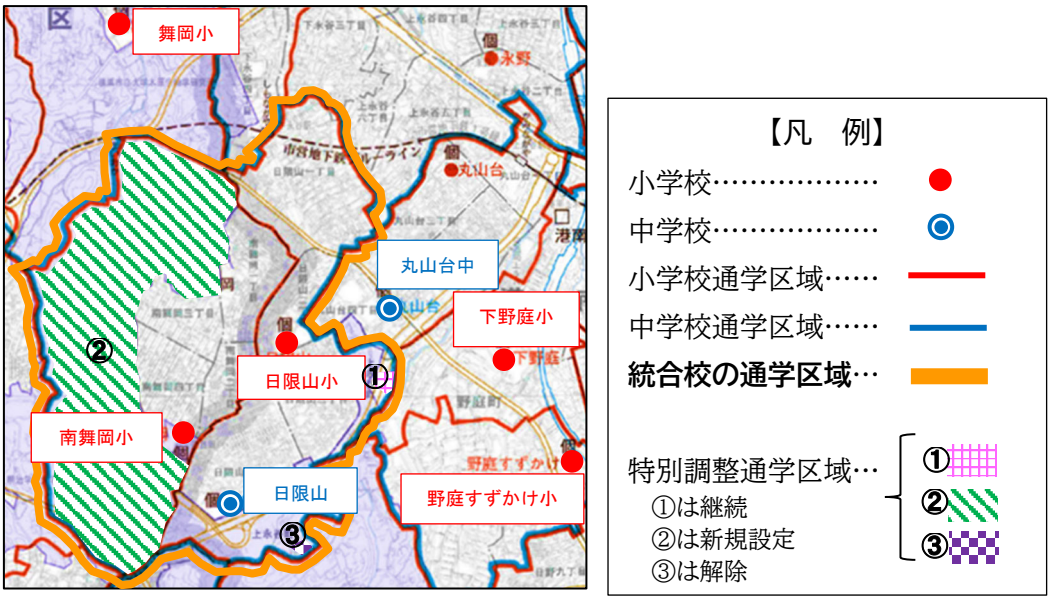
(ｲ)　特別調整通学区域②

指定校：統合校・日限山中学校　　受入校：舞岡小学校・舞岡中学校

〈特別調整通学区域①〉
港南区上永谷町4,772番地の1、4,772番地の19～4,772番地の24、4,775番地の27、4,775番地の38～4,775番地の46

〈特別調整通学区域②〉
戸塚区舞岡町 961 番地から 994 番地まで、996 番地から 1,002 番地まで、1,004 番地、1,005 番地、1,015 番地から 1,021 番地まで、1,138 番地、1,139 番地、1,143 番地から 1,152 番地まで、1,154 番地から 1,158 番地まで、1,160 番地から 1,182 番地まで、1,191 番地から 1,194 番地まで、1,208 番地から 1,461 番地まで、1,463 番地から 1,471 番地まで、1,475 番地から 1,989 番地まで、2,008 番地、2,445 番地から 2,933 番地まで、2,935 番地の 1、2,935 番地の 4、2,935 番地の 5、2,936 番地、2,937 番地の 1、2,937 番地の 4、2,937 番地の 6、2,940 番地の 2、2,940 番地の 6、2,941 番地、2,942 番地、2,973 番地から 2,979 番地まで、3,042 番地の 2、3,043 番地から 3,045 番地の 1 まで、3,047 番地の 1、3,049 番地、3,050 番地、3,052 番地の 1、3,052 番地の 4、3,053 番地の 1、3,053 番地の 4、3,054 番地から 3,067 番地まで、4,050 番地から 4,085 番地まで

【通学区域図】



(6)　**統合校の通学安全の確保**

統合校の通学安全の確保については、別途、「日限山小学校・南舞岡小学校」通学区域と学校規模適正化等検討部会から関係機関へ通学安全に関する要望書を提出します。

2　その他、統合にあたっての要望

(1)　学校統合までの期間においては、交流事業や統合校の教育目標の設定等を進めるとともに、通学安全への配慮など、統合校への円滑な移行ができるようお願いします。

(2)　統合校の教育方針については、これまで日限山小学校・南舞岡小学校それぞれが築いてきた教育的成果や取り組みを受け継ぎ、日限山小学校・南舞岡小学校の地区にふさわしい学校づくりをお願いします。両校の教育関係者は、教育内容の充実に取り組むとともに、教育委員会はより良い学校になるよう必要な支援をお願いします。

(3)　統合校の円滑な運営を図るとともに、統合校に通うすべての児童が新しい環境に順応できるよう、教職員の配置及び学習環境について配慮をお願いします。

(4)　統合校の施設に関しては、学校統合の目的である「より良い教育環境を児童に提供すること」を念頭に、必要な施設整備等を行うよう、お願いします。

(5)　キッズクラブの利用者が増加する状況を踏まえ、利用者である子どもたちが良い環境で過ごせるように、必要な数の専用部屋の確保をお願いします。

(6)　今回の統合により誕生する新しい「ひぎり舞岡小学校」には、これまで両校が築いてきた歴史や伝統を尊重し、引き継ぐとともに、卒業記念品等を含む関係資料の保存・記録をお願いします。

(7)　統合後の南舞岡小学校の土地建物の活用に関しては、現在の学校が地域にとって様々な役割を担っていることから、地域防災拠点として機能する形での維持を含めて、地域の声に配慮して検討するようお願いします。

３　付帯事項

検討にあたり、個人や団体から、学校統合をしないでほしいという御意見や請願等が複数寄せられています。検討部会としては、児童にとってより良い教育環境を整えていくために両校の学校統合を了承しましたが、児童や保護者、地域住民が不安を抱くことのないよう、教育委員会は必要な支援について最大限の努力をお願いします。

また、意見書に記載された通学安全・施設改修等に関する要望については、進捗状況を保護者や地域に適宜情報提供するようお願いします。

むすびに

日限山小学校・南舞岡小学校の地区において、今回の両校の統合を契機に、両地区の保護者や地域住民が一体となり、学校との連携・協力体制をより一層推進していきたいと考えています。

教育委員会事務局、港南区役所、戸塚区役所など関係部署においては、南舞岡小学校の跡地の活用も含め、地域課題の解決を図り、地域が活性化するための各種事業の推進をお願いします。

そして、日限山小学校と南舞岡小学校の学校統合に向けて、環境の変わる両校の子どもたちに対し、細やかかつ十分な配慮をお願いします。

なお、教育委員会は、今後も少子化が進む状況を踏まえ、将来的には１学級の人数の見直しや教職員の配置も含め、より良い教育環境となるよう、検討を進めていただきたい。

【意見書における主な発言や意見】（凡例　☆：各委員の発言　⇒：事務局等からの説明）

☆　統合を了承しましたが、施設整備について、「とりあえず必要な教室数は確保しました。」というような、その場しのぎの対応で終わらせてほしくないと思います。

☆　日限山小は、去年に比べてキッズクラブの利用率がうなぎ上りで、今年は平均 75 人ぐらい利用しています。統合前でも、キッズクラブのスペースが足りない状況です。統合したら確実に利用者が 100 人以上に増えることを考えると全然足りないので、そこは具体的な対応を示してもらわないと利用される保護者の方やキッズのスタッフの方は安心できないと思います。

☆　キッズクラブについては、夏休みにお弁当が提供されるということで、さらに利用者が増えている状況を目の当たりにしたので、統合にあたってその部分も考えてください。

☆　キッズクラブと学校の兼用で使用している部屋は、クラブ活動などがある時は使えないことがあります。
☆　キッズクラブの方からは、兼用スペースを増やすのではなく、キッズ専用ルームを確保してほしいという要望を直接伺っています。
☆　子ども達が新しい学校に行くことで、「きっと良いことがあるに違いない」と希望を与えてあげなきゃいけないと思います。
☆　統合が決まった後の課題にどう対処するのか、意見書の提出で終わらせないようにしてほしいです。
⇒　キッズクラブに関する要望や施設整備など、新しい学校の開校に向けてどうなっていくのか、何か決定事項があれば保護者の方にお知らせしていきたいと思います。
☆　統合する際の課題がキッズクラブの他にもあるのかもしれないと思いました。もう一度この検討部会で考えることが必要に感じました。
⇒　キッズクラブの話を含め、予算等の関係などで決定していないことを御提示するのは難しいと考えています。引き続き、この検討部会で統合後の具体的な部分の議論をすることになると、保護者や地域にお示ししている令和８年度に統合することが難しくなることが懸念されます。
☆　一期生になれるとか、新しい学校を楽しみにしている子もいると思います。令和８年度に統合するとしていたものを、令和９年度しか間に合わないとなるとすごく大きな問題だと思います。
☆　４年生の子ども達が、統合校に行くときには６年生になるため、「自分たちが最初の卒業生になるのではないか。」と言っています。子ども達が統合に気持ちを切り替えて学校名を考えてくれたのに、大人の事情で延長になる事は、心情的に受け入れられないです。
☆　統合後の話をこのまま検討部会で続けるのは難しいでしょうから、統合に向けて出た問題点を、解決する場をつくっていただきたいと思います。
☆　部会委員に向けてではなく、統合の影響を受ける児童の保護者などに情報提供した方がいいと思います。
⇒　保護者の方に向けた情報提供については、普段から学校と付き合いのある PTA などを通じて御説明できると考えています。
☆　この場で出た意見について、意見書にどのように書いて、どのように決定しますか。
⇒　いただいた意見を踏まえ、改めて調整した意見書の案を事務局が作成します。そして、後日各委員から意見をもらい、部会長と副部会長と相談して決定するという流れでいかがでしょうか。
☆　（了承）

【その他、統合にあたっての意見】

・　この統合の話によって、地域住民の思いは大いに乱されました。関係がギクシャクしたという話も聞きます。しかし、すべてそれぞれに地域を思い、子どもたちの幸せを願ってのことです。地域として前向きに進めるように、今後寄せられる御意見にも丁寧かつ誠実に御対応いただきますようお願いいたします。
・　統合に了承はしましたが、意見書こそもっと時間をかけて皆様と議論して検討したかったです。
・　今後も少子化が進む中、増え続ける個別支援学級の人数がカウントに入らないことに無理があると思います。学校規模適正化の方針や進め方の見直しを望みます。
・　我々を部会委員に委嘱した責任として、表しきれなかった意見も含めて、意見書の内容実現に向けて取り組んでいただきたいと思います。
・　私たちは部会委員に任命され、統合を了承した責任を今後ずっと担っていくことになります。数年後、私たちがあの時統合に了承して悪くなかったなと思えるような統合校づくりを、教育委員会には真剣に最後まで責任を持って果たしていただきたいと思います。

４　検討部会に寄せられた意見及び質問等（凡例　◆：意見・質問　⇒：事務局等からの回答）

※お寄せいただいた御意見等は全て検討部会に報告し、検討の参考とさせていただきました。なお、紙面の都合上、抜粋・要約して掲載しています。

◆・　令和８年度に学校統合した場合、南舞岡小の在校生は異動することになりますか。そのまま卒業するまで南舞岡小にいられますか。

⇒　現在、南舞岡小学校に通っている児童については、統合校に異動してもらうことになります。

・　新１年生で入学してすぐ異動になるのであれば、最初から日限山小に通わせることは可能ですか。

⇒　線引きが難しいため、現時点でそういったことは考えていません。

・　地域でいろいろな話が出ていますが、学校統合することは決まっているということで良いですか。

⇒　部会で決まった状況です。今後の手続きとしては学校規模適正化等検討委員会や教育委員会、市会の議決を経て正式に決定することになります。

◆　「南舞岡小がとても良いのでなくさないで欲しい」という意見が目立ち、私の様な意見は少数派かもしれないが、述べさせて下さい。統廃合は賛成です。使用する校舎は日限山小学校が現実的に考えても望ましいと思う。校庭の広さ、エレベーター完備、教室数、私が特に良いなと思ったのは明るい図書室（広い）で、沢山の本がある事です。そして、１～６年間ずーと同じクラスで同じ人と一緒というのはとても苦痛だと思います。最初は仲良くしてても色々な事が起きてくると嫌な面も見えてくるのです。低学年の内はただのケンカ小競り合いで済んでも高学年になるともっとエスカレートします、必ず。いじめは学校内だけではありません。小学生でもスマホを保有しているので SNS のトラブルがあります。SNS 内で友達といざこざがあって、又、学校でその子に会って、それがずっと続くのは苦痛です。ここで意見されている大人の皆さんが子供の頃や子育てされていた頃と今は全く違います。(環境や世相が)

１学級が仮に 30 人だったとして、男子 25 人女子５人だったらどうなるのか。又はその逆も、それが６年間ずっとだったら、とても嫌です。中学は日限山中でしたが、明らかに違ったのは体育祭での事、日限山小では運動会ではクラス対抗リレーなどの競技があったので順位がつくのでそれなりに皆で燃えていました。体育祭でもそうでしたが、反対に南舞岡小の A ちゃんは「南舞ではそういうリレーが(順位)なかったから別に…」という様な発言をしたため、とても浮いていました。「競争心はあまりないのかな？」と皆が言っていました。熱量の差は部活動でも感じる事はありました。ただ私はそれが良いとも悪いとも思いません。多学級で学んだ子と単学級で学んだ子と、多少はこういうずれはあるのかな？と思います。

日限山小は人数が多くてもたて割り活動もあったし、田んぼ学習や近くの農園に行ったり、自然に触れる学習もありました。実際に統合が決まって通う数年後は今の在校生はほとんど卒業してしまうので、これから入学予定である現在、保育園、幼稚園のお子さんがいる保護者の方や、「通わせていない」地域のお母様、お父様達の外部からの意見をもっと聞いた方が良いと思います。それと公開・非公開については事務局がかたくなに非公開にしていますが、地域住民の方の中には、「自分が参加したとして公開で行っても良い」と考えている方が居るのではないでしょうか？そういう方を募って、一度位は公開で行っても良いのではないでしょうか。又、説明会を日限山小通学区域（現在）の住民と南舞岡小通学区域の住民とで分けて行ってはいかがでしょうか。

⇒　このたびは、御意見をお寄せいただき、ありがとうございます。
いただいた御意見につきましては、検討部会で全文を報告させていただきました。

◆　僕は、南舞岡小学校から日限山中学校に行きました。僕は南舞岡小学校がなくなってしまうという話を聞きました。この件について、僕は反対です。南舞岡小学校は、南舞岡の地域に住む小学生のための重要な学校です。そして南舞岡小学校は、すぐ近くに、舞岡公園が近いので自然の学習や５年生の田んぼ活動などができます。さらに４年生は、南舞岡小学校の昔からの伝統、あら馬おどりをします。これらはすべて南舞岡小学校だけの活動です。南舞岡小学校が残ることは児童の希望や人数が少ないからこそできることにもつながります。反対におねがいします。

⇒　このたびは、御意見をお寄せいただき、ありがとうございます。
いただいた御意見につきましては、検討部会で全文を報告させていただきました。

◆　まず1点目です。先生方の負担について、南舞岡小学校の先生方が困っているなら、その内容を教えて下さいと2度ともお伝えしています。匿名でも構いませんのでアンケートを取るなど、きちんと聞き取りをして、都合良く要約せず、包み隠さず公開して下さい。

先生方が本当に大変な思いをしていて、ご本人達のご苦労の声であれば、保護者にも届くと思います。

お子さんがいらっしゃる先生方が早い時間に帰れている姿をよくお見かけします。ワークライフバランスの確保出来た素敵な学校だなと思っていたのですが、本当に南舞岡小学校の先生方が困っているのですか？また、2回目のメールで「1年間、1人の先生が35人を見るのと、1年間、3人の先生が105人を見るのと、何が変わるのでしょうか？同じ学年だとしても、他のクラスの生徒まで見る余裕が本当にありますか？」と「個に応じた適正な教育ができると回答がありましたが、それは小規模の方が行いやすいと思います。日限山小学校では、通級したくても、断られているという実態があることを聞いています。どう考えたら適正規模校の方が個に応じた適正な教育が行いやすくなるという結論になるのでしょうか。」と質問しているのですが、返答がありませんでしたので、ご回答をお願いします。教育環境の整備に逆行していると思います。

そちらの回答内容は【校務分掌や学校行事など適正規模の学校では複数の先生で分担ができるところ、小規模校では一人の先生がより多くの業務を担わなければならないことにつきましては、南舞岡小学校も例外ではありません。】と、再度一般論を述べているだけです。

2点目。過去の5年間のキッズクラブの再選定の経緯を教えていただき、ありがとうございます。

ただ、1番大切な統合後のスタッフの割合をお伝えいただいていません。

①上菅田笹の丘小学校の場合

統合後のNPO法人シャーロックホームズのスタッフと笹山小学校はまっ子ふれあいスクール運営委員会のスタッフの割合はどうなっていたのでしょうか？

②菅田の丘小学校の場合

統合後の元・菅田小学校所属と元・池上小学校所属のスタッフの割合はどうなっていたのでしょうか？

③いずみ野小学校の場合

統合後の株式会社スマイルクルーと社会福祉法人はとの会のスタッフの割合はどうなっていたのでしょうか？

(例)①統合後スタッフ人数〇人

うち元NPO法人シャーロックホームズのスタッフ〇人

元笹山小学校はまっ子ふれあいスクール運営委員会のスタッフ〇人

責任者は元〇〇の責任者。等と具体的に教えて下さい。

統合することによって、学校より長い時間を過ごすキッズクラブにも影響があることをもっと考慮してください。

3点目です。過去5年間の学校名案の方式を教えていただき、ありがとうございます。

ただ、公募方式と部会検討方式の分けが分かっただけで、結局どのように決めたのかが、全く分かりません。学校ごとに、検討の経緯を教えて下さい。

(例)公募式

アンケート結果は総数何票(〇案〇票△案△票□案□票)

検討部会でどういう提示の仕方(全案提示したのか、上位のみ提示をしたのか、票数まで提示したのか等)を検討部会で無記名投票の結果、〇案に決定等、具体的にお示し下さい。

⇒　1点目について、繰り返しになりますが、校務分掌や学校行事など適正規模の学校では複数の先生で分担ができるところ、小規模校では一人の先生がより多くの業務を担わなければならないことにつきましては、南舞岡小学校も例外ではありません。申し訳ありませんが、個別の学校における教職員の具体的な状況についてはお答えいたしかねます。御理解の程、よろしくお願いいたします。

また、適正規模校では各学年に複数の先生が配置されることで、学年内で学習指導や児童指導に関することを共有、相談をしながら有効な手立てを検討しやすくなり、児童にとっても相談できる先生が増えることで安心感にもつながります。こうしたことから個に応じた適正な教育が行いやすくなると考えております。

なお、個別支援学級や通級指導教室の利用にあたっては、学校の規模や状況とは関係なく、特別支援教育総合センターにて相談をいただいたうえで、個々のお子さんの状況や特性に応じてふさわしい学びの場の判断をしております。

２点目について、公募により運営法人が選定された場合、放課後キッズクラブの職員の雇用については、公募要項において、選定された運営法人に対してこれまでの活動の継続性や児童への影響を考慮した職員の雇用に努めるよう定めております。

なお、実際の職員の雇用については運営法人の裁量となるほか、雇用した職員の経歴等は運営法人が有する個人情報になりますので、横浜市からは具体的な人数の割合に関してお答えいたしかねます。御理解の程、よろしくお願いいたします。

３点目について、過去５年間に統合した学校の学校名案の決め方の経緯について、次のとおりです。また、公募方式によるアンケートの結果については、応募数含め全件を検討部会で報告しています。

◇丸山台中学校（部会検討方式）※検討部会ニュース第３号掲載
検討部会で議論し、決定。
◇上菅田笹の丘小学校（公募方式）※検討部会ニュース第５号掲載
アンケート結果をもとに検討部会で議論し、候補を８つ挙げた後、無記名投票を２回実施し、同数のため部会長により決定。
＜アンケート結果＞　計 375 件（児童：313 件、地域：62 件）
＜検討部会内での無記名投票の結果＞　計 12 票
・１回目　「上菅田緑の丘」：５票、「上菅田笹の丘」：３票、「上菅田が丘」：１票、
「上菅田翔洋」：１票、「上菅田わかば」：１票、「新上菅田」：１票
・２回目　「上菅田緑の丘」：６票、「上菅田笹の丘」：６票
◇菅田の丘小学校（公募方式）※検討部会ニュース第６号掲載
アンケート結果をもとに検討部会で議論し、候補を４つ挙げた後、無記名投票を実施し決定。
＜アンケート結果＞　計 138 件（児童 105 件、地域：33 件）
＜検討部会内での無記名投票の結果＞　計 14 票
「菅田の丘」：８票、「菅田丘の上」：４票、「菅田池上」：１票、「菅田町」：１票
◇上白根北中学校（公募方式）※検討部会ニュース第７号掲載
アンケート結果をもとに検討部会で議論し、候補を５つ挙げた後、無記名投票を実施し決定。
＜アンケート結果＞　計 509 件（児童・生徒：454 件、地域：55 件）
＜検討部会内での無記名投票の結果＞　計 12 票
「上白根北」：６票、「旭上白根」：２票、「四季の森」：３票、「白根台」：１票
◇いずみ野小学校（公募方式）※検討部会ニュース第５号掲載
アンケート結果をもとに検討部会で議論し、候補を５つ挙げた後、無記名投票を実施し決定。
＜アンケート結果＞　計 163 件（児童：122 件、地域の方：41 件）
＜検討部会内での無記名投票の結果＞　計 15 票（うち白票１票）
「いずみ野」：10 票、「新いずみ野」：２票、「いずみ台」：１票、「いずみ野愛」：１票

◆　舞岡地区センターで行われた説明会に参加したのに、時間切れということで質問が出来なかったため、先日メールさせていただいたのですが…。

説明会の時に、主として説明してらした女性に「今日、したかったのに出来なかった質問は、どうしたら良いのですか？」と質問した所、「メールで送って下さい」と言われました。

なのでメールを送ったのですが、質問に何も答えていただけなくて、驚いてしまいました…。

説明会ではその場で回答をするのに、メールだと回答をいただけないのでしょうか…？

そうなのであれば、やはり説明会を再度開いて下さい。

また、情報公開についてのみ、条例まで詳細にお答えいただいたのですが…。

私はそうは思いません。これは横浜市としての見解でよろしいですか？担当部署に確認した結果でしょうか？

また、「検討部会で全文を報告し、検討の参考とさせていただきます。また、要約して検討部会ニュースで掲載させていただきます。」と記載がありましたが、検討部会ではどのように報告がされているのでしょうか？また”検討の参考”とはどういう意味でしょうか？

きちんと１件ごとに部会で検討していただいているのでしょうか？検討していないのであれば、部会の意味がないと思います。良好な教育環境の整備、と言いながら、壊すのをやめてください。

これ以降、最初に送ったメールをそのままコピペしますので、全てにきちんと答えて下さい…。

【以下、最初に送ったメール】～～～～～～～～～～～～～～～～～～～～～～～

先日、舞岡地区センターで行われた説明会に参加したのですが、時間切れということで質問が出来なかったため、メールさせていただきました。説明会で発言したかった内容は以下の通りです。

①いじめの問題をよく挙げられますが、いじめはクラス替えで解決するのでしょうか？イベント時等、結局一緒に過ごさなければならず、解決しないと思います。いじめは根本的に無くすことが大切であって、そのためには小規模の方が１人１人に目が行き届きやすいです。

現在、我が子が通っていますが、クラスの子、全員の顔と名前が分かります。何か起これば色んな方面から気付くことが出来るし、いじめ自体を発生させない環境作りが大切だと思います。

また、学校規模といじめに相関関係が無いとおっしゃるなら、統合への共感を得やすい、いじめの話を持ち出すのはやめてください。

②キッズクラブは再度プロポを行って選び直すと伺いました。我が家は共働きで、学校よりもキッズクラブで過ごす時間が長いです。学校ももちろんですが、南舞岡小学校はキッズクラブも素敵な先生ばかりで、参加率が高いと伺っています。子供が行きたくないとなってしまえば、子供の安全な居場所が無くなってしまいますので、検討の中でキッズクラブについても議論して下さい。

③本当に統合をしないでいただきたいです。こんなに素敵な学校を無くさないでください。統合しないという結論に辿り着くためには何をしたら良いのでしょうか。説明会でおっしゃっていたように、まちづくりには時間がかかります。おっしゃる通り、学校統合とまちづくりの時間軸は異なります。その間の子供達の良好な学習環境の整備と何度もおっしゃってましたが、現在、十分に良好な学習環境が整っています。一度統合してしまえば、時間軸がずれているまちづくりが達成したとしても、元に戻ることはありませんよね？

時間軸がずれているからこそ、現時点で統合という結論にしないで下さい。良好な学習環境を壊さないで下さい。

当日発言したかった内容は以上です。ここからは当日の対応を見ての意見です。

次のご予約の方に迷惑がかかりますので、と何度も発言して、時間切れで質問することが出来なかったのに、1 階に上がり予約ボードを確認すると、会場が 15 時まで抑えられていました。

嘘が 1 つでも入ると、何も信じられなくなります。嘘は絶対についてはいけなかったと思います。これは部会ニュースにもしっかりと載せて下さい。

そして、もう一度時間制限で打ち切ることのないように説明会を開いて欲しいです。

また、説明の中で議事録の開示を求める意見に対して、開示はしていないような旨の回答があったように認識しているのですが、検討部会の議事録は行政文書にあたると思いますので、情報公開制度の対象になるのではないでしょうか？情報公開請求の案内をした方が良かったと思います。また、情報公開

請求には文書名が必要なので、文書名を教えて下さい。

学校統合について、賛成の方、反対の方、無関心の方がいらっしゃいます。説明会への参加率を見ても分かる通り、9 割以上は無関心だと思います。部会ニュースもそのまま資源ごみになってるという方もたくさん聞きます。統合したら自分達にはどういう影響があるのか(学校名や校歌、校章等が変わる話はみんな全然知らないようです。通学帽等、自費で購入している物は、再度保護者負担で購入するのでしょうか？)もっと具体的にお示しいただき、日限山小学校にも南舞岡小学校にももっと当事者意識を持つように動いて欲しいです。

【以上】～～～～～～～～～～～～～～～～～～～～～～～

⇒　前回お寄せいただいた御質問について、回答が不足しており誠に申し訳ございません。

情報公開について、公開・非公開、あるいはその範囲等は、行政文書を保有する所管課において判断することとなっており、条例の解釈を踏まえた上での当課の考え方をお示ししています。

また、事務局宛にお寄せいただいた御意見・御質問等につきましては、事務局からの回答とともに、検討部会において全文を書面で報告のうえ、学校規模適正化に向けた検討の参考とさせていただいております。

また、５月８日にＥメールでいただいた件について、改めて回答します。

①について

いじめや人間関係の問題については、学校規模に関わらず、どの学校でも起こり得る問題です。これまで発行している部会ニュースにも掲載されているとおり、学校現場ではその場で解消するように努めており、丁寧に対応していますが、その上で、様々な状況や心理的負担等があり、解消が困難となる場合もあります。クラス替えができないといじめ対策ができないということではなく、いじめや人間関係の問題は、様々な手法を使って解決していくべきであり、学年に複数の学級があることで、クラスを分けるといった対応がとれるようになるなど、解消に向けた対応の選択が増えると考えています。

②について

放課後キッズクラブについていただいた御意見も踏まえながら、引き続き学校規模適正化の検討を進めてまいります。

③について

横浜市としても、子育てのことも考えたまちづくりを大事なことと考えており、様々な部署が連携しながら施策に取り組んでいるところです。学校規模適正化についても、本市全体の児童生徒の教育環境を更に良いものにしていくために取り組んでおります。

◆　統合した場合、通学帽の着用はどうなるのか教えて頂けますか？
　　統一せずバラバラということですか？

⇒　通学帽の着用については、市全体として一律に定めているものではないため、統合後の学校でどのように運用するかは、学校や地域の実情を踏まえ、今後検討していきます。

◆　南舞岡小学校を今のまま存続させて下さい。

南舞岡小学校は、地域で子どもたちをのびのびと育てるためにどうしても必要です。なくさないでという子どもたちの意見を聞いて下さい。

・　「南舞岡小学校をなくさないでください」ぼくは南舞岡小学校をなくすことは反対です。理由は、３つあります。１つ目は、じっくり教えてくれることです。ぼくのクラスは20人でじっくりていねいに教えてくれます。２つ目は、舞岡公園が近くにあることです。舞岡公園には１年生からずっとじゅぎょうで行ったりしています。１年生の時は、ヒマワリとコスモスをうえました。

　２年生の時は舞岡公園のあちこち全体をたんけんしました。３年生の時は、舞岡公園をくわしく調べたり、舞岡公園のかんり者の●●さんにインタビューしたり、外来種をくじょしたりしていてとてもとくべつだと思いました。３つ目は、焼き物工房が近くにあることです。焼き物工房は金子ふぁーむの中にあって金子ふぁーむでは、虫とりに行ってみかんをもらいました。焼き物工房では●●さんにしつもんしたりしました。そして４年生の総合のじゅぎょうで焼き物を作ることになりました。これもとてもとくべつだと思いました。ぼくは南舞岡小学校が大好きなので南舞岡小学校をなくさないでください。

・　みなみまいおかしょうがっこうをなくしてほしくないです。まいおかこうえんで、いろんなことをたのしみにしてます。３ねんせいがまいおかこうえんいっしゅうのたびのすごろくをつくってくれました。とてもおもしろかったからみなみまいおかしょうがっこうをなくしてほしくないです。しかし１の１はにんずうが 35 にんもいるのでくっつけたらきょうしつがいっぱいになっちゃうのがいやでがっこうをがったいしたくありません。もっとすくないにんずうがいいです。

・　南舞岡小学校をのこしてください。なくなったらさびしいです。

・　もしがったいして先生とはなれたくないです。いつもどおりの学校が良いです。おねがいします!!南まいおか小学校をなくさないでぜったいのこしてください!!

⇒　１クラスあたりの人数については、今年度１年生から５年生までは35人以下、６年生は40人以下となるようにしており、来年度からはすべての学年で35人以下になります。そのため、学校を統合することで１クラスあたりの人数が35人より多くなるということはありません。また、クラス数が増えることで、今までより運動会など学校行事での活動の幅が広がり、さらに先生の人数も増えるため、たくさんの先生との関わりもできるようになります。

　舞岡公園での活動など、それぞれの学校の良い活動や取組などは、新しい学校でも続けられるように引き継いでいきます。

◆　①検討部会での報告、その後の検討等、傍聴させていただけないでしょうか。

　②手紙を書いた子どもたち一人一人へ、返事をもらえないでしょうか。

　以上２点へのお答えをお願いします。

⇒　次回の第９回検討部会は、非公開で開催することになっております。非公開で行われる会議については、傍聴することができません。子ども達への回答については、別紙のとおりとさせていただきます。

<別紙>

お手紙（てがみ）を読（よ）ませてもらいました。

現在（げんざい）、日限山小学校（ひぎりやましょうがっこう）と南舞岡小学校（みなみまいおかしょうがっこう）の子（こ）ども達（たち）にとってより良（よ）い学校（がっこう）の環境（かんきょう）を整（ととの）えるため、両方（りょうほう）の学校（がっこう）を閉校（へいこう）し、新（あたら）しい学校（がっこう）をつくることを考（かんが）えています。

新（あたら）しい学校（がっこう）になると、クラス数（すう）が増（ふ）えるため、今（いま）までより運動会（うんどうかい）など学校行事（がっこうぎょうじ）でできることが増（ふ）えます。

また、お友達（ともだち）の人数（にんずう）や先生（せんせい）の人数（にんずう）も増（ふ）えるため、たくさんの人（ひと）との関（かか）わりもできるようになります。

１クラスあたりの人数（にんずう）については、来年度（らいねんど）からはすべての学年（がくねん）で 35 人以下（にんいか）になります。そのため、新しい学校になることで１クラスあたりの人数（にんずう）が 35 人（にん）より多（おお）くなることはありません。

舞岡公園（まいおかこうえん）での活動（かつどう）など、それぞれの学校（がっこう）の良（よ）い活動（かつどう）や取組（とりくみ）などは、新（あたら）しい学校（がっこう）でも続（つづ）けられるように引（ひ）き継（つ）いでいきます。

◆・　昨日（７月９日）、子どもたちに校内放送で統合をするという説明がありました。決まってもいないのになぜこのタイミングで放送するのですか。誰がこのように決めたのですか。

⇒　部会の中で、統合する方向性が出たため、その内容が記載されている部会ニュースが配付されるタイミングに合わせて、児童へ説明しています。部会の中で話し合ってそのようになっており、詳細の日程やお知らせの仕方などについては、教育委員会と学校で調整して決めています。

・　日限山小学校も同様に児童に知らせているのですか。

⇒　昨日、日限山小学校の児童についても同様に説明しています。

・　統合すると聞いた子供たちの気持ちを考えたことはありますか。子ども達の人権を無視しています。

　こんなことをするのは子どもに対するいじめです。これまで子供たちの声を聞いたことはありますか。地域の声を聞いたことはありますか。反対が何名、賛成が何名、何にも思わない人が何名など統計はとっていますか。子ども達にアンケートを実施しているのかはっきり答えてほしいです。

⇒　これまで検討の途中経過の段階であったため、不安や混乱を招く恐れがあることから、子ども達へのアンケートは行っていません。

・　自治会町内会でアンケートを実施していますか、少なくとも私は何も聞かれていません。代表ではなく、個人の意見なのではないでしょうか。統合が決まった段階で、地域へ説明会はしますか。前回の説明会はアリバイづくりでしかなかったと思います。地域から反対の意見が出れば統合は覆りますか。

⇒　説明会の開催の要望などを含めて、いただいた御意見については、部会に報告し、検討しています。これまでも地域で反対されている方の御意見などを委員の方からお伺いしたうえで検討しています。その中で今回このような方向性に決まっています。

・　南舞岡小学校はなにも問題がない学校で、統合することでいいことなんて一つもありません。１クラス20人と１クラス40人だったら、１クラス20人の方が良いです。いじめがあっても目が行き届くのと、統合してクラス替えができたとしてもまたクラスが一緒になればいじめが起こると思います。根本的な解決になりません。東戸塚小学校も今ひどい状況になっています。なにもいいことなんてありません。昨日の校内放送を聞いて、子どもが涙して帰ってきています。地域に学校があるから南舞岡を選んでいる人がいます。地域から学校がなくなったら、その人たちの気持ちがわかりますか。

⇒　今回頂いた御意見については、部会で報告させていただきます。

・　いつも報告だけでなにも変わっていません。怒りが収まりません。

◆・　南舞岡小学校で児童に対して、統合が決まったという話があり、児童が家に泣いて帰ってきたという話を聞きました。統合ということは、すでに決まってしまったのですか。

⇒　現在、全戸配付している部会ニュースで周知させていただいているとおり、統合の方向で部会に了承されました。第８回部会で決定したので、学校としても決まったこととして、子ども達に周知しています。

・　学校がなくなるということに対して、児童達には相当なショックがあります。保護者も児童から話を聞いて初めて統合に関して知ったそうです。これでは保護者側でも準備のしようがなく、児童へのフォローも難しいです。また、統合が確定するまでに、この後さまざまな過程を経て決定するものだと聞きました。それらすべてが決まってから伝えるのではダメだったのですか。

⇒　児童への説明の時期が難しいことは事務局側としても理解しており、これまでの事例を参考にして、今回このタイミングでの説明となりました。

・　学校から児童に伝えるときの伝え方も、校長が校内放送で伝えたと聞きました。児童の顔も見ずに放送だけで伝えるのは誠意がないのではないでしょうか。子ども達への伝え方に関してもう少し配慮は考えられなかったのですか。

　先日の説明会でも時間が足りず、質問等も打ち切られてしまいましたが、今後あのような場を設ける予定はないのですか。検討部会だけが先んじてしまっていて、当事者である保護者・地域住民が置いてきぼりにされてしまっています。

⇒　説明会については、現時点でやる予定はありません。今後、両校を統合し新しい学校を開校するにあたっての交流のやり方の部分や、児童たちからの意見などで必要が生じた場合には実施を検討していきます。

　また、校長には、検討部会を進めるにあたって、さまざまな角度から児童たちへの影響を鑑みて御指摘をいただくことも多くあります。校長も児童たちのことをよく考えている、そのことはこの場で申し伝えさせていただきます。

・　校長が校内放送で統合を伝える際に、「今の小学５年生が卒業した後の年に統合する」と言ったそうですが、そのような記載は第８号のニュースのなかにはどこにもありませんでした。ニュースに記載のないことを校長が児童に伝えるのは危ういのではないですか。

⇒　今回の統合の決定は第７回で検討していた仮のものを本決定することになり、第７号に記載のあった令和８年４月に統合校開校としていた内容を承認したという意味合いになります。

　そのため、第８号ニュースに記載はなかったが、すでに周知している内容にはなります。

・　前回のニュースが発行されたのは３月です。内容を覚えていない人も少なくありません。今回のニュースだけではそこまで読み解けません。

⇒　わかりづらい記載となってしまったことをお詫びいたします。

◆・　日限山小学校と南舞岡小学校が統合することは決まっていますか。
⇒　部会として、統合する方向に決まりました。今後、教育委員会や市会などで審議したうえで正式に決定します。
・　学校で統合が決定したと話があったと聞いていますが、それは間違いですか。何が目的で統合するのですか。
⇒　様々な検討をして、部会としては統合する方向で決まった旨を伝えています。目的としては、学校規模を適正化して、児童にとってより良い教育環境を整えるために行っています。
・　学校規模を適正化することでどんなメリットがありますか。
⇒　例えば、クラス替えができるようになることで様々な人と関わることができる、などがあります。
・　今、南舞岡小学校に通っている人はクラス替えができないことを知ってて、入ってきているのだから、問題ないのではないですか。
⇒　本市では、通学する学校は住所によって指定されています。そのため、学校を選択して通っているわけではありません。
・　閉校した南舞岡小学校の利用方針は決まっていますか。
⇒　閉校後の後利用については、現在決まっていません。今後検討していくことになります。
・　後利用が決まっていないのに、統合するのはおかしいのではないですか。部会ニュースを見ると会議を公開にしてほしいや、議事録を公開してほしいといった反対する人の意見を全然反映していないと思います。なぜ反対する人の意見を聞かないのですか。
⇒　会議の公開については、部会ニュースにも書かせていただいているとおり、会議ごとに検討部会に諮って決定しています。また、非公開で開催している会議については、議事録は公開していません。その代わり毎回部会の報告を兼ねて部会ニュースを発行して部会の様子などをお知らせしています。
・　部会で諮っているとのことだが、今の児童のために行っていることなら、今学校に通っている保護者が部会に入っていないといけないと思います。そうでないと子育て世代の気持ちはわからないと思います。子育て世代を会議の委員にした方がいいと思います。部会は何人でどんな構成になっているのですか。
⇒　自治会町内会の代表の方、ＰＴＡの代表の方、学校長の 17 人の委員で構成されています。子育て世代の意見としては、ＰＴＡの代表の方から話を伺っています。また、自治会町内会の代表からも地域の御意見などを伺っています。
・　日限山小学校の周辺の状況は把握していますか。
⇒　部会で検討を始める前から、何度も現場にいって学校周辺の状況把握を行っています。
・　日限山小学校と隣接する公園の間のところは登下校時、路上駐車が多くすごいことになっていることは把握していますか。先日、道路で鬼ごっこをしている子どもがいて車で轢きそうになりました。日限山小学校は登下校時に先生が立っていないという今の状況で、統合し、児童が増えたらより危険になると思います。そのような事情を把握したうえで、統合すると言っているのですか。
⇒　何度も現場の確認をしているが、その状況は把握できていませんでした。そのような地域の状況は自治会町内会の代表などから話を伺ったりしています。
・　部会ニュースに統合することを了承したと書かれていますが、このようなあいまいな表現だと住民の方は決まったものだと思ってしまいます。私は南舞岡で商売していて、賛成する人、反対する人の意見を聴いています。私の周辺は反対している人が多いです。反対する人がもっといるはずなのに、これしか部会ニュースに掲載されていないのはおかしいと思います。質問したのに回答されていないという御意見もありましたが、会議が非公開の上に、会議録もみれない状況だとそちらの都合の悪いことを隠していると思われても仕方がないと思います。もっと小学校の体育館などを使って、反対する人のために説明会などを行ってもいいのではないですか。反対する人に寄り添った方法を考えてほしいです。
⇒　部会ニュースの記載内容がわかりづらいといった御指摘については、申し訳ありません。反対する方の御意見を含め、寄せられた御意見については部会で全文報告し、部会ニュースに掲載しています。
質問が来ていて未回答のものがあるという御意見はありましたが、そのようなものは確認できませんでした。今回頂いた御意見についても部会で紹介し、部会ニュースで掲載させていただきたいと思いますが、よろしいでしょうか。
・　ぜひ一言一句しっかり載せてほしいと思います。
⇒　お電話での聞き取りになるため、もちろんメモを取らせていただいているが、一言一句メモが取れているわけでないため、メールでいただけるとより正確に掲載できるが、いかがでしょうか。
・　統合について、誰に意見を言えば良いですか。自治会長に話した方がいいですか。
⇒　基本的には事務局が窓口になっているため、事務局に連絡いただければと思います。
・　要望としては、オープンな会にしてほしいです。今実際に学校に通っている人を検討部会の委員にしてほしいです。統合を了承した、の表現があいまいでよくわかりません。何か月に１回でなく、もっとコンスタントにまちの状況を見て検討してほしいです。日限山小学校の周辺は車の通りが多く通学路が狭い、児童が増えた時に安全が確保できるのかが心配です。説明会など保護者が集える場を開催してほしいです。今の時代はオンラインでもできると思います。以上が要望です。この他にも、大切なことを話しているため、しっかり載せてほしいです。

◆　現在南舞岡小に通う児童の保護者であり、数年後に入学予定の子を持つ親です。
　当初、令和４年５月に説明会が開催され統合の可能性を含めた話を聞いた時にはとても驚きました。
　しかし、その後慎重に部会で議論を進めている様子を検討ニュースを通して知り、行けませんでしたが皆さんの要望に対応して相談会を開催するなど、子供第一なのはもちろん保護者・地域の方の心情を汲んで丁寧に進めておられる印象を受けていました。
　しかしながら、方向性が定まりつつある大事なタイミングに開催された令和６年４月の説明会が、学校の行事がある日かつ歩きでは行きにくい場所での開催で落胆しました。
　加えて、今月保護者へ事前の知らせがなく突然の児童への説明があり、慌てて作成されたと思われる保護者向けのお知らせを本日受け取りました。
（子供には軽く統合の可能性を説明していましたが、決定したらまず親から詳しく話そうと思っていました）
　統合へ方向性が決まった事で進め方が突然雑になったように感じ、統合へ前向きの気持ちを持っていた私でも失望・不安感を感じたので、そもそも反対されている方はいかほどかと思います。
　統合に向けて子供・保護者・地域が一体となって前向きに進めるように、是非是非今一度丁寧に進めていただくようにお願いします！具体的には、以下ふたつお願いがあります。
◇統合への詳細な流れを説明して欲しいです。
　以前の部会ニュースで、最終的に市議会に諮って決定と見ましたが、今から検討部会で意見書をまとめる→横浜市学校規模適正化等検討委員会→横浜市議会（市議会で承認されて最終決定）という流れでしょうか？
　先のプロセスが見えると少しは安心できます。
◇令和４年５月のように両小学校で説明会を再度開催して欲しいです。
　小さなお子さんや御年配の方がいる家庭も多く、現在通っている家庭、これから通う事になる家庭、地域の方は対象となる学校に聞きに行けるのが一番納得しやすいと思います。
　令和６年４月の説明会には行けなかったので分かりませんが、令和４年の際は校長先生も同席されていて、教育委員会がひとりでに進めるのではなく、現場の教員の意見も取り入れながら進めるのだという良い印象を受けましたので、是非実際に統合に向けて対応される事になる先生にも御同席いただきたいです。今後統合に向けてより良い状況で進めるよう、願っております。

⇒　令和６年４月の説明会について、開催日時や会場等で御不便をおかけしたこと、申し訳ありませんでした。
　また、保護者の皆様に向けてのお知らせを配付する時期と学校から児童への説明の時期が前後してしまい、保護者の皆様に御心配と御迷惑をおかけしたこと、重ねてお詫び申し上げます。
　今回お知らせの配付に至った経緯といたしましては、これまで会議の開催ごとに部会ニュースを発行し、保護者の皆様も含め、対象地域にお住いの方にお知らせしておりますが、第８回の部会ニュース配付開始後に、「部会ニュースだと分量が多く、読み切れない。」といった御意見を保護者の方からいただきましたので、これまでの検討部会での決定事項をまとめた「第８回検討部会までの決定事項のお知らせ」を作成し、学校を通じて配付させていただきました。
　なお、７月９日に行った学校から児童への説明は、学校名アンケートを実施するにあたり、児童が戸惑うことがないよう、両校で実施しています。
　ご質問のあった学校の統合決定までの今後の流れについては、次の通りです。
　①検討部会で意見書の取りまとめ（意見書の内容決定）
　②横浜市学校規模適正化等検討委員会で意見書を基に答申の内容決定
　③教育委員会で答申を基に審議（方針決定）
　④横浜市会（市議会）で条例改正の審議（学校統合決定）

◆　私は日限山小学校の近隣に住む者です。学校名については公募式と言うことで意見させていただきます。
　この地に住み、日限山小学校、日限山中学校に通い育った身からすると、学校名はこのままとしていただきたい。
　学校名が変わるということは、校歌も校章も変わるのでしょう。
　それは母校の歴史が終わることということを理解していただきたい。
　県立高校で行われた統廃合で、母校は統合する側で、校舎や通学する学生は残りましたが、学校名が変われば、それは別の学校でした。
　再び、このような喪失感を味わいたくはないし、経験した者にしか分からないものでしょう。
　多くの意見が寄せられていると思いますが、このような考え、経験をしている者がいることも御理解いただければと思います。

⇒　このたびは、御意見をお寄せいただき、ありがとうございます。
　いただいた御意見につきましては、検討部会で全文を報告させていただきました。

◆・　南舞岡の地域に住んでいるが、新しい学校名のアンケートがポストに入っていました。統合はもう決まったことなのですか。順序がおかしいと思います。

⇒　先に配付した第８回の部会ニュースの中で、検討部会として日限山小学校・南舞岡小学校の両校を統合することを了承し、今後は統合校の名前など、決めていかなければならないということで地域にアンケートする旨についても記載しています。

・　それは読んで分かっています。そうではなく、今後、市会での承認を得てから統合が決定するのではないのですか。両校の校長から朝礼で子ども達への説明があったことも含めて、統合ありきで進めているように感じます。地域からの反対意見もたくさん出ている中で、地域住民の意見を聞いたふりをしているだけではないでしょうか。

⇒　第１回部会からのニュースなど読んでいただけると、統合ありきではなく、通学区域の変更での小規模校の解消を検討しています。しかし、小規模校の解消には至らなかったことから統合という対応を部会として了承した形となっています。

・　とにかく抗議したいので聞いてほしいです。この地域の近くでほかにも廃校になった小学校のことを知っていますが、まるで管理がされていないうえ、夜は危険を感じるぐらいです。教育委員会では直近で裁判の傍聴妨害などの不祥事も複数あり、非常に不信感を覚えています。いち職員であるあなたに言っても仕方がないとは思っていますが、教育委員会に所属している職員はみんな校長・副校長になるような出世する方々だと思いますから、子ども達のために、今一度教育委員会としてのあり方を考えてほしいです。

◆　南舞岡小学校に子どもを通わせる保護者です。まず、同じこどもたちの事を想う同士なのであれば、部会での議論に参加する・しないにかかわらず、対立ではなく横並びで、ともに考えていきたいという思いがあります。でも、出していただいてるニュースを読んできて、同じような意見や質問が繰り返されているのを見ていると、納得していない人が多いのだとわかります。

質問に答えてもらえていないと言う方の気持ちもわかれば、繰り返し同じ回答をされていて苦労がある事も理解しているつもりです。

ですがメール等で意見を募るのみでは、議事録が非公開なこと、抜粋された文章での報告であること、時間差での回答になること等により、言葉尻を捕らえ合っていて、平行線になっているようにも見えます。対話になっていません。

私は統廃合に対しては手放しで賛成でも、頭ごなしに反対でもありません。ただ、子どもたちが置き去りにされ、さも「子どもたちのためにやっている風」に話が進んでいく事にだけはどうしても納得できず、ご連絡しました。

①自治体も令和５年に施行された「こども基本法」にのっとっていると思いますので、子どもの事、すなわちこの統廃合について、「子どもの最善の利益」が第一次的に考慮されなくてはいけないと思いますが、そうされている（されていく）という認識で間違いないでしょうか。

②過去のニュース等で確認しますと、議論されている内容や集まる意見は、まちづくりの観点や防災拠点について、財政について等、様々な側面がありました。

そしてどなたも、子どもを思うが故の賛成であり反対であると思います。ですが、それらはすべて大人の声です。母校がなくなる。毎日歩いた通学路を歩かなくなる。この暑い中もっと歩かないといけないんだ。校歌も変わる。たった１年しか通えなかった。やっと慣れたのにまた１からやり直しか・・・。新しい環境に慣れるかな、友達増えるのかな。不安と期待、でも実際どうなるかなんてわからない・・・等、もっとも影響を受ける子どもの声は公の場で聞こえてきていません。

大きな日常の変化が訪れる子どもたちが「今」何を聞いて何を思っているのかを、議論に参加されている方々はご存じなのでしょうか？

③手引きの「適正化の基本的な考え方」にて、学校が果たす役割について書かれています。役割を果たすためには知識・技能の習得、「多様な考えに触れ、切磋琢磨して社会性を身につけさせて」・・・そしてそのために一定規模の生徒の確保や教員の配置が必要、ともあります。

ですが教育はそもそも、「教育する側」と「教育される側」が必ず存在しなくては成り立たないですよね。だから両者の観点がなくてはならないのに、この手引きでいうところの「教育的観点」は、「教育する”側”の観点」でしかありません。第８号ニュースにて「クラス替えなどで環境が変わり、新たな意見や多様な個性に出会う機会を子ども達に提供したいと考えております」とありました。「提供」という表現でしたが、子どもは教育を受ける権利主体であって、教育される客体ではないと思っていますが、どうお考えですか？

④また、ニュースにて「メリット・デメリット」という言葉で表される事が多いですが、これも「”大人が思う”、子どもにとってのメリット」です。

そして「よりよい教育環境」という言葉もよく使われますが「大人が思う、よりよい教育環境」になっています。なぜなら、議論に教育される側である子どもの声が含まれていないからです。「子どもの思う、メリット」「子どもの思う、よりよい教育環境」を話される事はないのでしょうか？

⑤同じく手引きの内容についてですが適正化の考え方に「あくまで児童の教育条件の改善を中心に」という言葉がありました。「子どもの最善の利益を中心に」ではなく「教育するための条件改善」を中心にする。これもまた教育する側の観点についてですね。

そして「現在の学級数や児童生徒の下で、どのような課題があるかについて”総合的な観点”から分析を行い、保護者や地域住民と共通理解を図りながら～」ともあります。

子どもの気持ちや考えを含まずに「総合的観点」から。また、「保護者や地域住民との共通理解」つまり大人同士で統合の適否を考えると。ここでも子どもの声は聞いてもらえないようになっています。という事は、手引きをそのまま受け取るとしたら、子どもの最善の利益が考慮されるようにはなっていません。ですが手引きでは、子どもの事を「学校教育の直接の受益者」と位置付けてもいます。ならば受益者である「子どもの最善の利益」が第一次的に考慮されなければならないと思いますが、いかがでしょうか。

⑥手引きの中で「小学校設置のありかたを最終的に判断するのは市町村」と、自治体の責任が明確になっています。部会並びに事務局は、このような内容の手引にのっとっているという認識で問題ないでしょうか。

⑦統合を進めるにあたり、子どもへのケアが重要になってくるかと思います。

手引きの中で「聴聞される機会」について、スクールカウンセラー・教職員の配置、家庭訪問、面談など、様々な工夫例が挙げられていますが、果たして増員等の対処が現実的なのかどうか、現時点でわかりません。統合を決定してから、やはり難しいので現行の教職員で対応します、等という事になる可能性があるのではないかと危惧します。そうなった場合、こどもの気持ちはアンケート頼りになるのでしょうか？

⑧アンケートという形式は、傾向を把握するどまりで、聴聞される機会としては不足がありませんか？

⑨子どもは、十分な説明をされていない中で、「やっと学校に慣れたのに」「あと一年なのに」または「どうせ言ってももう変わらないだろう」など様々なものを抱えています。それをアンケートでくみ取ることができますか？「こうするつもりだったけど、やっぱり難しかった、ごめんね、代わりにアンケートとるね」という、ずるい大人のやり方だけは絶対にあってはならないと思います。私は未来を担う大切な子どもたちに、責任を持ちたいです。ですので、子どもの声を拾う事をしないままで良しとする事は絶対に納得できません。無責任な大人で出来ている地域に、成り下がるつもりもありません。

100％がない事は承知の上ですが、子どものために最善を尽くしてほしいので、現実的なのかどうか、きちんと検証の上で決定していってほしいです。

⑩「こども基本法」のもととなる「こどもの権利条約」ですが、「自己の見解をまとめる力のある子どもに対して、その子どもに影響を与えるすべての事柄について自由に見解を表明する権利を確保する」とあります。子どもは皆、統廃合においても、賛否や気持ち、考えを表明して良いのですよね。娘は1年生になったばかりですが、もちろん意見する権利があります。

では「自己の見解をまとめる力のある子ども」という部分についてです。

見解をまとめるには情報が提供されなければならないし、他者へ相談したり他者の見解を聞く中で「自己の見解をまとめるちから」を持つ事になると思います。1年生だろうと、理解できる形での情報提供と、1年生のできる形での相談や、共同作業が必要という事です。

この場合、他者は大人ですよね。統廃合の問題において、大人は子どもとどのような関係を築き、どのように聞き取ってきましたか？（私から見ると、そもそも聞き取っていないように見受けています。）

⑪教育される主体として、また、社会の一員として、子どもたちが聴聞される機会を、今後どのような形でもち、どのように確保してくださいますか？

⑫こども基本法に「その年齢及び発達の程度に応じて、自己に直接関係する全ての事項に関して、意見を表明する機会及び多様な社会的活動に参画する機会が確保されること。」とありますが、当事者の声を聞かずにここまで進めてしまった理由を教えてください。

⑬子どもの権利条約では、「子どもにとって一番いいことは何かということを考えなければならない」とされています。一番いいことが「何」なのか、子どもの声なしに考える事が可能だと思われますか？

⑭第8号ニュースに子どもの声が実際にあがりましたが、今まだ貴重であるこの子どもの声に対し、「部会に共有した」との事。「読みましたよ」は回答ではないと思いますが、回答されない理由を教えてください。

⑮子どもから「こわさないでください。」とありました。この声は意見ではなくお願いに聞こえますが、事務局としては認識が違うのでしょうか？

⑯子どもがお願いしているのですが、そのお願いに対して部会や事務局の大人はどう答えたのですか？

子どもは、こわされると思っている事がわかりましたよね。本当に心から、1人残さずすべての子どもの幸福を願うのならば、統廃合は壊す事ではないのだと、子どもたち皆が納得できる説明をしてあげる事はできませんか？

私は部会にいる方々は、代表者だと思っています。代表して、子どもたちの事を話し合ってくださっていると。ですので、意見しながらもある程度は委ねなくてはなりません。

意見書の提出前に、「1人残らず、すべての子どもの幸福に責任をもつつもりで議論を進めていっているのか」と、議論している1人1人に確認をお願いします。

適当にしているだなんて思っているわけではありません。ですが子どもの声を無視して進めるという重大な事が起きているのも事実です。

私たちは、こうやって意見して、聞いてもらえたりもらえなかったりしながら、最終的には納得するしかない、我慢するしかない、という事になるかもしれないのです。それなのに、現状で進めていってもらっては困ります。私だって責任もって、子どもの未来を語り合いたいのに、です。

⇒　①について
　学校規模適正化のための学校統合は、両校の児童にとってより良い教育環境を整えていくために行うものです。
　②について
　検討部会には、両校に関係する地域の自治会・町内会長等や保護者代表、学校長にご参加いただき、子どもたちの様子なども含め、御発言頂いております。また、子どもから事務局宛に届いたお手紙の内容も部会において全文を報告しております。
　③について
　行政には子どもの教育環境を整える役割があり、その立場として回答しているため、「提供」という表現となっております。
　④について
　検討部会ニュース第３号にも掲載していますが、これまで、学校統合後に、学校統合を経験した児童へのアンケートや聞き取り調査等を行っています。子どもたちが感じた学校統合前後の変化、不安に感じたことや、統合した良かったと感じたことなども踏まえて、検討を進めております。
　⑤について
　本市では、子どもたちの教育環境をより良くすることを目的に、「横浜市立小・中学校の通学区域制度及び学校規模に関する基本方針」を策定し、当方針に基づき学校規模適正化を進めております。ご指摘のとおり「子どもの最善の利益」が第一次的に考慮すべきであることは変わりません。
なお、ご指摘の「手引き」については「公立小学校・中学校の適正規模・適正配置等に関する手引」と拝察しますが、こちらは文部科学省が策定しておりますので当手引自体の考え方についてはお答えできかねますことご了承ください。
　⑥について
　「横浜市立小・中学校の通学区域制度及び学校規模に関する基本方針」は「公立小学校・中学校の適正規模・適正配置等に関する手引」や、「学校教育法施行令・施行規則」で示される適正な学校規模を踏まえ策定しております。また、教育基本法第５条第３項で「国及び地方公共団体は、義務教育の機会を保障し、その水準を確保するため、適切な役割分担及び相互の協力の下、その実施に責任を負う。」とあり、同法第６条では「法律に定める学校は、公の性質を有するものであって、国、地方公共団体及び法律に定める法人のみが、これを設置することができる。」と定められており、自治体として義務教育の機会を保障するため、学校を設置し、教育環境を整える責任があります。
　⑦について
　学校統合にあたっては、児童の心理的負担を極力軽減することが重要と考えており、授業や学校行事等を通じた関係校の交流期間を設けます。児童一人ひとりの不安や心配には、学校統合に限らず個々に教職員が対応していきます。また、教職員配置については、これまでの事例では、児童が環境変化に順応できるよう配慮して両校の教職員の配置を行っています。
　⑧⑩⑫について
　④でお示しした通り、学校統合後に児童へアンケートを実施することはありますが、学校統合は地域や保護者の方にとっても意見の分かれる非常にデリケートな課題であり、児童の年齢や発達の程度に対し、不安や混乱を招く恐れがあるため、学校統合について検討途中の段階で例えば「学校統合についてどう思うか」というような趣旨のアンケート調査の実施や意見の聞き取りの機会を設けることはこれまでしておりません。一方で、これまでも説明会への参加や事務局への意見は常時どなたからも受け付けており、現在関係校に通っている児童からご意見を寄せられたこともあり、寄せられたご意見の全文を検討部会に報告して議論を進めているところです。
　⑨⑪について
　第８回検討部会で、児童にとってよりよい教育環境を整えていくために、部会として学校統合することを了承され、新しい統合校の学校名を児童から募集することになったため、学校から両校の児童に対して部会での現在の検討状況を説明いたしました。
　学校規模適正化の検討にあたり、どのタイミングで、どういった方法で児童にしっかりと説明を行うべきかについては今後も検討していきます。
　⑬について
　これまで学校規模適正化の検討段階において、積極的に児童への検討状況の説明や意見の聞き取りの機会を設けておりませんが、説明会への参加や事務局への意見は児童も含めて常時どなたからも受け付けております。
　また、学校統合を経験した児童へのアンケートや聞き取り調査等を行い、子どもたちが感じた学校統合前後の変化、不安に感じたことや、統合して良かったと感じたことなども整理して次の検討に生かすようにしております。
　⑭⑮⑯について
　子どもからのお手紙については、保護者の方から検討部会で共有してほしいとのことでお受けしましたので、検討部会で全文報告し、検討の参考とさせていただいた旨、回答いたしました。
　また、学校統合は両校が閉校し新しい学校をつくっていくことです。両校の児童が新しい学校になることへの期待感を持てるように交流期間などを通じて、児童に伝えていきたいと考えています。

◆　南舞岡小に子どもが通っています。
　この少子化の時代、学校が統合になるというのは、時代の流れとしてしょうがないのかもしれません。
　私はそう思って、反対とも賛成とも声をあげてきませんでした。
　ですが、検討部会など作って話し合いを重ねていても、初めから統合ありきで進めているとしか思えませんでした。
　この少子化の時代に、なぜ適正規模の見直しをしてて、小規模校として続けていく選択肢がないのですか？
　また、統合決定となっても、保護者や地域を集めての説明もなく、子どもたちは校長先生から、そして保護者や地域にはいつもの検討部会の緑の紙でのみの報告。
　あの紙だけで納得しろということでしょうか。
　その後のいつもの半分のサイズの緑の紙は、そういう声が多くて、急いで作って配ったものですか？バカにしているとしか思えません。

⇒　小規模校には、子ども同士よく知り合うことができ、人間関係が密になることなど、小規模ならではの良さもある一方、多様な個性と触れ合える機会に恵まれにくいことや、一人の先生が担当する学校・学年全体の事務作業や学校行事に関わる負担が多くなるなど、課題があると認識しています。
　日限山小学校・南舞岡小学校の規模適正化の検討においては、通学区域の変更などの実施によっても小規模校の状態が解消しないことがわかったため、学校統合の検討を進めています。
　今回お知らせの配付に至った経緯といたしましては、これまで会議の開催ごとに部会ニュースを発行し、保護者の皆様も含め、対象地域にお住いの方にお知らせしておりますが、第８回の部会ニュース配付開始後に、「部会ニュースだと分量が多く、読み切れない。」といった御意見を保護者の方からいただきましたので、これまでの検討部会での決定事項をまとめた「第８回検討部会までの決定事項のお知らせ」を作成し、学校を通じて配付させていただきました。本対応について、御不快な思いをさせてしまい誠に申し訳ございません。

◆　南舞岡小学校・日限山小学校の統合について、行政が何も考えずに進めているように感じたので連絡しました。日限山に住む人と話をしたが、日限山の人は全然関心がなく、新しい学校ができると思っていました。学校がなくなることを伝えるととても驚いていて、交通量の多い大通りを通ることになって、危ないねと話しました。そういうことも考えないで、市教委はただ与えられた仕事をこなしているだけなのだと感じました。7 月 9 日に校長から突然統合する話があって、児童たちは驚いて大号泣していました。地域の人が校長に話を聞くと、市教委の指示を受けて日限山小と一緒に行ったと言っていました。校長も複雑な気持ちなんだと思います。保護者も急に統合することを知らされたため、驚いていました。統合は子どものためにやっているとニュースには書いていますが、議員の先生に話を聞くと行政の効率化のためだと言っていました。やっぱり子どものためではないんだと思いました。子どもはずっと同じ学校に通えると思っているのに、突然その場所を奪うということは子どもにとって大きな傷として残ると思います。市教委は目先のことしか考えていないと思います。縦割り行政になっているから防災拠点と統廃合が別々になっています。防災拠点がなくなったら南舞岡の人たちはどうすればいいのでしょうか。ニュースに跡地について書いてありましたが、民間に渡して、後は知らないという姿勢が読み取れました。日本の 4 割の自治体が過疎化すると情報が出ている中で、どうやって人を増やすか考えないといけないと思います。東戸塚小は児童が多くなるという理由で分校ができるが、その後の処理をどうするのか考えていないと思います。給食もタバコが入っていたのに、綾瀬や小田原で給食を作っていて、保健所が違うから立ち入れない状況だと聞いています。このまま普及していくのはどうなのでしょうか。教育とまちづくりを両方考えないといけないと思います。ほぼ同数のこどもが一つの学校に集まったら、密度が増して狭くなります。そのことも分かっていません。防災拠点がどうなるのか。子ども達にとって何がいいのかわかっていません。

⇒　御意見として承ります。

◆　南舞岡小学校にざいせきしています。今回の統合に関して、統合の対しょうになるのは私たちなのに、私たちの意見を全く聞かないで、大人の方が勝手に決めてしまって、とても悲しかったです。説明もほとんどなく、急に名前を考えろと言われても、どうして良いか分かりません。私は南舞岡小学校が大好きです。私たちの意見も聞いてください。よろしくおねがいいたします。

※回答先が不明なため、回答していません。

◆　結局、この議論が始まったら、形だけ学区の調整をして、やっぱり無理でしたって統合にするんですよね？
　意見を送っても、部会に資料として配布されるのみできちんと検討もされず、形だけの部会を行って、周りからの意見の窓口になってしまって、部会メンバーはとても負担だと思います。
　教育委員会として、1つの学校を維持するのに、いくらかかってて、この人数のためにそんな税金は使えないと言ってもらった方がよっぽどしっくり来ます。
　何が良好な学習環境の整備なのですか？いい加減にして下さい。
　南舞岡小学校は良好すぎる学習環境が整備されています。
　良好な学習環境を整備するはずの教育委員会が、良好な学習環境を壊さないで下さい。
　で、突然「部会から了承を得ました」→親に伝える前に子供達に伝えて→学校名まで募集し始めて→後付けのように親にお手紙って、ちょっと乱暴すぎやしませんか？
　そもそも、部会メンバーなんて立場上反対出来ないメンバーで構成されている会議に何の意味があるのでしょうか？
　校長先生が泣きながら放送してたと子供達から聞きました。親としては部会では承認を得られたという仕組みが分かっているので、え？という感じです。
　部会では立場上本当の意見が言えないのだと理解しました。
　反対の意見を言い続けるのはものすごい負担が大きいです。日本人は同調圧力がすごいので、教育委員会主導の会議で反対の意見を言い続けられる人がどれだけいると思いますか？
　偶然その時期にどこかの団体の長だった方々が集められて、何の意味があるのでしょうか？
　反対側の意見もきちんと取り入れて下さい。取り入れる意思が無いのなら、教育委員会がきちんと表舞台に立つべきだと思います。今すぐ進行を止めて下さい。

⇒　本市では、子どもたちの教育環境をより良くすることを目的に、「横浜市立小・中学校の通学区域制度及び学校規模に関する基本方針」を策定し、当方針に基づき学校規模適正化を進めております。
小規模校には、子ども同士よく知り合うことができ、人間関係が密になることなど、小規模ならではの良さもある一方、多様な個性と触れ合える機会に恵まれにくいことや、一人の先生が担当する学校・学年全体の事務作業や学校行事に関わる負担が多くなるなど、課題があると認識しています。日限山小学校・南舞岡小学校の規模適正化の検討においては、通学区域の変更などの実施によっても小規模校の状態が解消しないことがわかったため、学校統合の検討を進めています。
　保護者の皆様に向けてのお知らせは、これまで会議の開催ごとに部会ニュースを発行し、保護者の皆様も含め、対象地域にお住いの方にお知らせしておりますが、第８回の部会ニュース配付開始後に、「部会ニュースだと分量が多く、読み切れない。」といった御意見を保護者の方からいただきましたので、これまでの検討部会での決定事項をまとめた「第８回検討部会までの決定事項のお知らせ」を作成し、学校を通じて配付させていただきました。
　なお、７月９日に行った学校から児童への説明は、学校名アンケートを実施するにあたり、児童が戸惑うことがないよう、両校で実施しています。
　部会には、日頃から学校に関わっていただいていて、子どもたちの状況、学校の状況をよくご理解いただいている方ということで、両校に関係する地域の自治会・町内会長等や保護者代表、学校長にご参加いただき、これまでもそれぞれの立場から様々な御発言を頂いております。
　また、御意見・御質問については常時受け付けており、頂いた御意見等は部会で全件報告し議論を進めております。

◆・　学校名アンケートに「新たな学校を開校することになったため」と記載されているが、これは嘘ではないですか。厳密には市会にも諮る必要があり、そういったことを省いてこのような記載をしているのは、事務局に都合のいいように、反対している人が黙るのを待つように進めているようにしか思えません。「決まっていません。」と訂正するチラシを全戸に配付してほしいです。
・　なんでもかんでも統合に反対というわけではありませんが、嘘が入っているからこうして抵抗したくなります。住民の声を聞いていると言っていますが全く聞いていません。住民の声を聞くと言って行った説明会も金曜の夕方でしたし、子どものいる家庭が参加できるわけがありません。
⇒　条例改正のために市会での議決や、教育委員会での審議はおっしゃるとおり、今後行っていきます。部会については、教育委員会から諮問をうけて学校規模適正化等検討委員会で規模適正化についての検討を行い、具体的な調査審議をするために地域の方、保護者の方を交えて方向性を議論しているものであり、部会でまとめた意見書を尊重して今後学校規模適正化等検討委員会や教育委員会で審議していきます。

・　そうならば「部会として決まった」などと記載したらいいのではないですか。またはアンケートも統合が最終的に決まってからとったらどうですか。統合が最終的に決まったものと誘導しているようにしか思えません。自分は保育園の役員もしていますが、何人かの人が統合はもう決まっているんでしょと言っていました。別の方からは、私から何か伝えたわけではないが、教育委員会事務局はずるいやり方をしているとも言っていました。法律違反ではないがすれすれのやり方を事務局はしています。個人的に小規模校のデメリットや適正規模校のメリットは分かっているつもりで、統合自体に絶対反対ではありませんが、嘘ばかりのやり方をするなら最後まで反対を続けていきます。お金がないから、先生がいないからとはっきり言ったらどうですか。そういう理由ならどうしようもない、仕方ないとなります。今後自分の意見を新聞に投書することも考えています。とにかく事務局にはまっすぐぶつかってきてほしいです。

⇒　誘導する意図はありませんでしたが、こうした表記となったことは申し訳ありません。過去の他の検討部会でもそうでしたが、部会としてまとめる意見書に学校名案も記載するため、校名を公募する場合は、部会として学校統合の方向が決まった後のタイミングでアンケートを行っています。今回のアンケートは児童、地域と既に配付済みで再配付を行うことは難しく申し訳ありません。

　また、適正規模化を進めていく理由については、部会ニュースや説明会でもお伝えしていますが、子ども達の教育環境を良くしていくためであり、財政削減や教員不足を第一に考えてのことではありません。

・　財政や教員不足のため仕方がないということでなければ、どちらでもいいなら統合をしなければいいと思います。小規模校にメリットを感じている人もたくさんいます。フィンランドでは１クラスあたりの児童数も 20 人程度で、マンツーマンのように教えているようです。横浜市も見習うべきです。

⇒　少人数学級での指導についてメリットがあることは同意しますが、学校規模についてはまた別の論点であり、全学年クラス替えができるように２学級以上あった方がいいという考えです。少人数学級制については、法改正により小学校で 35 人学級制がやっと進められてきたところであり、今年は１年生から５年生まで、来年度には全学年で 35 人以下の学級になります。一部の自治体でそれよりも少ない学級人数を採用しているというのは聞いていますが、全国的にそうした 35 人より少ない人数での学級編制が進められているわけではありません。

・　学級の人数についてはわかりました。アンケートを再配付するつもりはないようなのでこれ以上時間もかけられないのでいいです。要望としてはとにかく嘘なく、まっすぐに対応してほしいです。今後もまた気になることがあれば連絡します。

◆　2024/7/9 に南舞岡小学校と日限山小学校の校長先生がそれぞれ子ども達に「日限山小学校と南舞岡小学校が統合して新しい学校になります」と話したそうです。でも、検討部会で了承されただけです。検討委員会での審議を経て市議会に提案し、市議会で了承されていません。あまりにも民主主義を踏みにじり、ないがしろにしています。それも教育委員会の指示と聞いています。

①なぜ、この時期なのですか。

②保護者にも伝えていないのに、なぜ、子ども達に直接話をしたのですか。

③統合問題が出てから、「子ども、保護者の気持ちを聞いてください」と何度も繰り返し訴えましたが、１度もアンケートを取ることもなく進め、突然の発表とはどういうことでしょうか。子ども、保護者の意見はいらないということですか。子どもの権利条約の意見表明は無視してよいということですか。

④傷ついた子どもの気持ちをどうフォローするのですか。

⑤なぜ、子どもを守る立場の校長先生に発表させたのですか。

⑥その後「新しい学校の名前を考えよう」の授業をしたとも聞いています。なぜですか。

⑦検討部会の方々は、この 7/9 の発表を事前に知っていたのですか。突然ですか。

知っていたらこの暴挙はなかったと思います。板挟みになった検討部会の方を思うと胸が痛みます。

　地域住民の２割から３割の方が両校をこのまま残す署名に賛同しています。ということは地域住民の合意がとれていないことです。でも、「統合する」と検討部会で了承されたということは合意が取れたとみていると思います。その根拠はなんでしょうか。

　2024/8/3 南舞岡小学校の校庭で自治会の夏祭りがコロナ以来久しぶりに開かれました。開催してくださった自治会の方に感謝です。改めて学校は、文化を発信し交流する拠点だと感じました。同時に防災拠点です。閉校になったら、いざという時にすぐ使えるのでしょうか。段ボールベッドは、備蓄は、暖かい食べ物は、体育館の空調は、トイレは、障害を持っている方の受け入れは、ペット同伴は、全体を統括して運営に当たられる方は…、学校が機能していなければできないことです。この部会の担当ではないと言わず、いざという時にどのようにして住民を守るのか、答えてください。

　南舞岡小学校を小規模特認校として残してください。小規模のよいところは数々ありますが、お互いに風

通しがよいところ、児童は学習面でも生活面でもわからないところはすぐ聞けるし相談できる、教師もどこも困っているのかつかみやすく、すぐ対処できることです。特にここでは裏庭のような舞岡公園でさまざまな学習ができることが利点です。自然に触れることは心を豊かにします。

なぜ、小規模特認校にできないのでしょうか。もう１度、話し合いの場を持ってください。

子ども、保護者、住民の合意は得られていません。

今まで何回も質問意見を出しています。同じ質問を何度もしています。どうしてでしょうか。回答がないからです。丁寧に説明するというからには、本当に誠実に答えてください。

教育委員会の裁判傍聴妨害問題、「いじめ文言削除」問題、年度初めの教員未配置問題、統廃合問題など子どもを置き去りにして教育委員会は何をしているのか、不信感でいっぱいです。

ぜひ誠実に向き合ってください。

⇒　①②⑤⑥⑦について、

第８回検討部会で、統合校の学校名案を決めるにあたり、両校の児童及び通学区域にお住まいの方を対象に学校名案のアンケートを実施することになりました。学校名案のアンケートを実施するうえで、児童によって、検討部会の状況について知っていることに差があるため、部会で決定した内容について学校の先生から児童にしっかりと説明した方がいいということになり、学校名案のアンケートを行う日より前に学校から児童へ説明を行っています。

また、学校から児童へ説明する日程については、検討部会後に、事務局で調整しております。

③について、

学校統合は地域や保護者の方にとっても意見の分かれる非常にデリケートな課題であるため、学校統合について、児童へのアンケート調査の実施や意見の聞き取りの機会を設けることはこれまで行っておりません。

一方で、これまでも説明会への参加や事務局への意見は常時どなたからも受け付けており、寄せられたご意見の全文を検討部会に報告して議論を進めているところです。

④について、

傷ついた児童については、個別に対応しますので、まずは学校又は事務局に御相談ください。

検討部会では、学校統合に関して不安を感じている方に対して、事務局で丁寧に対応してほしいと要望をいただいております。その一方で、全体のお子さんにとってより良い教育環境を整えるためには両校を統合することを、検討部会として了承いただきました。

統合後の地域防災拠点や後利用については、地域防災拠点として機能する形での維持を含めて、地域の声に配慮して検討するように、検討部会からも要望をいただいております。防災を所管する部署にも伝えて、市としてしっかりと検討してまいります。

小規模校については、小規模校ならではの良さもある一方、多様な個性と触れ合える機会に恵まれにくく、人間関係を修復したり広げたりしていく力や社会性を育てる機会が限られることや、一人の先生が担当する学校・学年全体の事務作業や学校行事に関わる負担が多くなるなどの課題があると考えており、「横浜市立小・中学校の通学区域制度及び学校規模に関する基本方針」に基づき、規模適正化を進めています。また、上記の考えから本市では現在、「小規模特認校制度」についても実施しておりません。

◆事務局からのお知らせ

「日限山小学校・南舞岡小学校」通学区域と学校規模適正化等検討部会は、横浜市学校規模適正化等検討委員会への意見書の提出をもって終了しました。

これまで御協力いただきました地域・保護者の皆さまに心よりお礼申し上げます。

◆「日限山小学校・南舞岡小学校」通学区域と学校規模適正化等検討部会の検討経過等について

検討部会の会議案内や会議録、ニュースについては、ホームページからも御覧いただけます。
https://www.city.yokohama.lg.jp/kurashi/kosodate-kyoiku/kyoiku/sesaku/tekiseika/shokibo/kounantotsuka.html

◆事務局（お問い合わせ先）

検討部会は終了しましたが、皆様からの御意見や御質問を引き続き受け付けております。

Ｅメール、電話またはＦＡＸでお寄せ下さい。
横浜市教育委員会事務局学校計画課
Ｅメール：ky-kounan2022@city.yokohama.jp　　TEL：045-671-3252　　FAX：045-651-1417